

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営等業務」仕様書

1 業務名

あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム運営等業務

2 目的

本県産業を支える自動車産業は、カーボンニュートラル実現に向け、電動化というパラダイムシフトを迎えており、その中でバッテリーは最重要技術の一つである。本県にはEV・産業用バッテリーを必要とする企業や、セラミックス等の電池材料を扱う企業が集積する等、この先端成長分野へのポテンシャルは非常に高い。

2024年12月に「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）」を設立し、3つの柱「研究・実証」、「人材育成」、「研究・実証・製造拠点等集積」の取組を進めてきた。

本業務では、セラミックス等の地域の強みを生かした活発な研究・技術開発により、電池イノベーションの創出を図るため、コンソーシアムの運営を行い、産学行政によるネットワークづくりを推進する。

3 契約期間

契約日から2027年3月31日（水）まで

4 業務

コンソーシアムの運営に係る次の業務を実施する。

- (1) コンソーシアムの会議等運営
- (2) 普及啓発
- (3) 新規参入促進に係るセミナー等開催
- (4) 共同研究支援

5 業務内容

コンソーシアムの設立目的を達成するため、次に掲載する内容の業務を実施する。業務の実施に当たっては、各業務を相互に連携させ、効果的な運用に努めること。

(1) コンソーシアムの会議等運営

ア 総会の開催

コンソーシアムの取組で会員の関心が高いテーマに関する協議及び会員間の交流機会創出等を目的に、コンソーシアムの総会、基調講演及び会員交流会（ポスター展示併催）を開催する（知事出席予定）。

- 時期：2026年6月16日（火）
- 場所：ミッドランドホール及びオンライン配信
- 定員：会場150名程度、オンライン200名程度

○内容：議事、基調講演、会員によるショートプレゼン、ポスターセッション、
会員交流会

(ア) 会場等手配

総会の開催に必要な会場及び備品を手配する。会員交流会は、軽食と飲み物を用意する等、交流の活性化を図る。会員からの情報発信の場として、ポスターセッションに必要な備品を手配する。

(イ) 運営

参加者募集、会場設営、受付、記録写真の撮影、進行、マイクラン、資料作成・印刷、議事録作成等総会の円滑な運営に必要な業務を県と調整の上、実施する。

○運営マニュアル（スケジュール、レイアウト等）を作成し、県と調整の上、運営に必要な事務業務の支援を行う。

○オンライン配信を実施する。

(ウ) その他

○手配した会場、備品、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

イ アドバイザリーボードの開催

コンソーシアムの取組全体の方向性等について議論するため、次世代バッテリーをけん引する有識者（アドバイザリーボード委員 14 名）をメンバーとしたアドバイザリーボードを、3 回程度開催する。

○時期（予定）：2026 年 8 月、11 月、2027 年 3 月

(ア) 企画

県と調整の上、議題を設定するとともに、県の指示により必要な資料を作成する。

(イ) 会場等手配

アドバイザリーボードの開催に必要な会場及び備品を手配する。（オンライン開催も可能とする。）

(ウ) 運営

会場設営、議事録作成等アドバイザリーボードの円滑な運営に必要な業務に係る支援をする。

(エ) その他

手配した会場、備品、委員謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

ウ 勉強会又はワーキンググループ（WG）の開催・運営

次世代バッテリーの研究・技術開発促進に向けての検討課題について、勉強会又はWGを開催する。

(ア) 企画・開催

会員のニーズや業界動向を把握した上で、効果的なテーマ設定と実施手法を企画提案し、県と調整の上、適切に開催する。

3テーマ程度、各3回程度開催する。(2025年度からの継続テーマ「酸化物型全固体電池」、「リサイクル・リユース」を含めてもよい。)

(イ) 勉強会又はWGの運営

日程調整・案内、会場・備品の確保、実施内容の調整、資料配布、会議の議論を円滑にするためのファシリテーション、議事録作成等効果的な運営ができるよう、県と調整の上、必要な支援を行う(対面、オンライン開催、対面とオンラインのハイブリッド開催のいずれの場合であっても対応すること。)

(ウ) その他

手配した会場・備品等の支払いを受託者において実施する。

(2) 普及啓発

ア ウェブサイト保守・運用

コンソーシアム公式ウェブサイトを守り・運用する。また、コンソーシアム及び会員の情報発信の有効性を高めるための機能追加、改善策等を企画提案し、県と協議の上、必要な対応を行う。運用に当たっては、別添「委託事業 Web ページ作成及びサーバ構築時の注意点」に留意すること。

(ア) 保守管理・更新

契約期間中は受託者においてウェブサイトの保守管理を行う。不具合等が生じた際は、速やかに県に報告を行い、原因を究明する。また、その修正・復旧の対応を迅速に行うこと。公開後のデザイン等の修正にも、可能な限り対応する。

新着情報(随時)、会員のプレス情報(週1~2回程度)、会員一覧(会員名簿)(月1回程度)、会員情報(随時)等のWebページの更新を実施する。

また、契約期間満了等により受託者が変更となる場合は、次の受託者が円滑にウェブサイトの保守管理・更新を行うために必要な引継ぎを行うこと。

(イ) CMSの管理

CMSを常に最新の状態に保つこと。

(ウ) サーバの賃借及び運用保守

サーバは受託者にて用意し、以下に記載するメンテナンスなど必要な対策を行う。

- サーバの動作確認
- データのバックアップ
- ソフトウェア保守
- ハードウェア保守
- セキュリティ対策の点検・対応

(エ) 基本操作マニュアルの更新

ウェブサイトの基本情報やCMSの使用方法をまとめた基本操作マニュアルを更新する。

イ 電池討論会出展等支援

コンソーシアムの取組、本県電池関連企業等の取組を発信するため、電池討論会への展示出展支援を行う。(会員 10 団体程度)

【電池討論会概要】

○第 67 回電池討論会

日程：2026 年 11 月 24 日（火）～26 日（木）

会場：パシフィコ横浜ノース

(ア) 出展準備

出展者の募集、主催者及び出展者との連絡調整等を行う。

(イ) その他

出展展示に係る経費の支払いを受託者において実施する。

ウ 産業展示会出展支援

コンソーシアムの取組、本県電池関連企業等の取組を発信するため、産業展示会への出展を行う。BATTERY JAPAN 国際二次電池展（春展）への出展に加え、会員の取組を広く発信するうえで有効と考えられる産業展示会に出展する。各展示会 1 小間程度出展し、コンソーシアムの取組と会員 2 団体程度の取組を紹介する。

【BATTERY JAPAN 国際二次電池展（春展）概要】

○日程：2027 年 3 月 24 日（水）～26 日（金）

○会場：東京ビッグサイト

(ア) 企画

BATTERY JAPAN 国際二次電池展（春展）のほか、会員の取組を広く発信する上で有効と考えられる産業展示会を企画提案し、県と調整の上、出展先を決定する。

(イ) 展示ブースの設置

○企画設計

「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」としての一体的な出展であることが分かるようにするとともに、出展者及び来場者の立場を考慮した集客力を見込めるような全体の企画設計を行う。

○装飾

展示ブースの装飾は、出展展示会の装飾規定を遵守する。

装飾規定の範囲でスポットライト等により十分な明るさを確保し、他のブースに埋もれないような工夫を行う。

統一的な装飾（基礎装飾）として、統一感を持たせた全体の造作、パンチカーペット（カーペット留めを含む。）、社名板、展示台（机、白布等）、システムパネル、スポットライト、コンセント等を必要に応じて備える。

○レイアウト

展示ブース全体の動線を考慮し、来場者の動線、視認性を考慮した集客力の

高いレイアウトとする。

出展企業の展示に重きを置くレイアウトにする。なお、展示スペースは公平性に留意し、立ち寄りやすく、商談しやすい配置とする。

○設営

展示ブース利用計画・図面、レイアウト等の計画に従い、展示物や機材・工作物の設置、電気工事など、出展に必要な業務及びそれに付随する業務を行う。

設営にあたっては、展示会主催者が定める規則等を遵守すること。

(ウ) 出展に係る PR 支援

○コーディネート業務

出展企業の事業内容、出展物等を正しく理解し、出展企業の強みを生かした展示会の出展となるよう、出展企業に対し事前に個別の相談等を行う。

○リーフレット作成

出展ブース等で配布するために、コンソーシアムを紹介するリーフレット(A4両面、カラー)のデザインを企画する。

デザインしたリーフレット 1000 部程度、8 月(予定)を目途に県へ納品する。

(エ) 出展ブースに係る運営管理

○連絡調整

出展企業説明会若しくは個別説明を実施し、出展企業に対し展示会の概要、出展に係る規定、ブースのレイアウト等について説明する。

出展(搬入・搬出含む。)が円滑に行えるよう、展示会主催者等関係機関、出展企業、県等との連絡・調整業務を密に行う。

○管理

展示の説明は各出展企業及び県が行うが、出展ブース全体を管理する責任者を定め、準備(搬入)、開催期間、搬出終了まで、県及び出展企業、展示会主催者と常に連絡が取れるようにする(展示ブースに責任者が常駐する必要はない)。

展示ブースにおける出展企業や来場者に対する安全に配慮するとともに、展示会主催者が定める規則等を遵守し、出展企業にも徹底する。

○撤去

展示終了後は、適切に出展物等の撤去を行う。撤去に当たり、スタッフの配置をするなど、必要な安全対策を行うとともに、展示会主催者が定める規則等を遵守する。ゴミ処理等、ブース内などの清掃業務を行う。

○出展負担金徴収

出展企業は出展負担金を支払うこととする。県と調整の上、出展企業間の公平性が保たれるように出展負担金を設定する。

出展企業から出展負担金を徴収し、出展負担金を本委託事業に必要な経費に充当することができる。

○各種手続き

展示会主催者への出展小間料の支払い等、経費の支払いを行う。出展者賠償

責任保険料、情報掲載料等については、必要に応じて負担する。

エ AXIA EXPO への出展支援

- AXIA EXPO にて、コンソーシアムの取組、本県電池関連企業の取組を発信するため、ポスター展示の出展を行う。
 - ・日程：2026年6月3日（水）～5日（金）
 - ・会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
 - ・出展数：コンソーシアムの取組1小間、会員企業の取組15小間程度（要調整）
- AXIA EXPO にて、会員とAXIA EXPO 来場者向けのセミナーを開催する。
 - ・日時（想定）：2026年6月4日（木）13時30分～15時10分
 - ・会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
 - ・内容：出展者による事業紹介。（出展者のうち、希望者のみ講演。）

（ア）展示

○運営

展示ブース利用計画・図面、レイアウト等の計画に従い、展示物や備品の設置、出展者との調整等、出展に必要な業務及びそれに付随する業務について、県の支援をすること。

（イ）セミナー

○企画・運営

セミナー内容の企画、AXIA EXPO 事務局との調整、講演者との調整、記録写真の撮影、資料作成等を実施するとともに、当日の運営を実施する。

（3）新規参入促進に係るセミナー等開催

企業等のバッテリー分野への新規参入・事業拡大、共同研究開発の促進のため、セミナーやマッチング交流会等を開催する。

ア セミナー及びマッチング交流会の開催

会員の研究開発・新規参入等のヒントとなる情報提供を目的とし、県内外の先進研究開発状況や業界動向等を発信するセミナーを開催する。また、企業同士、又は研究機関対企業の共同研究の促進のためのマッチングを目的とするマッチング交流会を開催する。セミナー及びマッチング交流会を2回程度開催する。セミナー及びマッチング交流会の同日開催も認める。（2回のうち1回は（公財）科学技術交流財団との共催を予定）

○時期（想定）：2026年8月、12月

（ア）企画

最新の事例、業界の動向などを踏まえ、コンソーシアムのセミナーにふさわしいテーマとその講師候補者を立案し、県と協議の上、決定する。研究開発の動向等を踏まえ、マッチング交流会のテーマとマッチング交流会の方法を立案し、県と協議の上、決定する。

(イ) 会場等手配

セミナー及びマッチング交流会開催に必要な会場及び備品を手配する。マッチング交流会では、必要に応じてポスターセッションに必要な備品を手配する。マッチング交流会では軽食と飲み物を用意する等、交流の活性化を図る。

(ウ) 運営

講師との調整、参加者募集、会場設営、受付、オンライン配信、記録写真の撮影、進行、マイクラン、資料作成等セミナーの円滑な運営に必要な業務を県と調整の上、実施すること。

○運営マニュアル（スケジュール、レイアウト等）を作成し、県と調整の上、運営に必要な事務業務の支援を行う。

○必要に応じてオンライン配信を実施する。

(エ) その他

○手配した会場、備品、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

○ポスター作成

ポスターセッションに掲示するため、コンソーシアムを紹介する展示ポスター（A0、カラー、2種類、10部程度）を作成する。（8月目途）

イ 企業等見学会の開催

電池に関する研究開発、製造等を共有する企業等見学会を開催する。

○時期（想定）：2026年11月

○定員（想定）：40名程度

(ア) 企画・調整

会員の研究開発動向、製造状況を踏まえ、動向最新の事例、業界の動向などを踏まえ、見学先を提案し、県と調整の上、決定する。見学先と開催に向けた調整を行う。

(イ) 交通手段手配

見学会のため、バス又は最寄り駅からの交通手段等を手配する。

(ウ) 運営

参加者募集、会場設営、受付、記録写真の撮影、進行、資料作成等見学会の円滑な運営に必要な業務の実施にあたり、県の支援をする。

(エ) その他

○手配した交通支援、見学先への謝金等の支払いを受託者において実施する。

ウ 電池ビジネスセミナーの開催

電池産業への新規参入・事業拡大を検討している企業を対象に、最新ビジネス動向や電池設備に関するニーズ等をテーマとしたセミナーを開催する。

○時期（想定）：2026年7月

○定員（想定）：40名程度

○日数（想定）：1日

(ア) 企画

電池産業への新規参入を検討している企業にとって有効となる内容を企画提案し、県と調整の上、セミナー内容及び実施手法を決定する。講師の選定に当たっては、(一社)電池サプライチェーン協議会(BASC)と調整を行う。

(イ) 会場等手配

開催に必要な会場及び備品を手配する。

(ウ) 運営

講師との調整、参加者募集、会場設営、受付、記録写真の撮影、進行、マイクラン、資料作成等セミナーの円滑な運営に必要な業務を県と調整の上、実施すること。

○運営マニュアル(スケジュール、レイアウト等)を作成し、県と調整の上、運営に必要な事務業務の支援を行う。

(エ) その他

○手配した会場、備品、講師謝金、旅費等の支払いを受託者において実施する。

エ xEV テスティング・イニシアティブの開催

「xEV テスティング技術を考えるステアリングコミッティ」と調整し、電動車のテスト技術の現状等に関するセミナーを誘致・開催する。

○時期(想定)：2026年11月の2日間

○場所(想定)：STATION Ai

(ア) 会場等手配

開催に必要な会場及び備品を県と調整の上、手配する。

(イ) その他

○会場使用料・備品利用料等開催支援費の支払いを受託者において実施する。

(4) 共同研究支援

電池に係る企業同士、大学と企業の共同研究や協業の活性化を図るため、共同研究開発チーム等組成に向けたコーディネートや共同研究等につながる試作品製作に係る支援を行う。

ア 企画

共同研究開発チーム等組成につながる、効果的なコーディネート手法と試作品作成等に係る支援方法を企画提案し、県と調整の上、適切に実施する。

※ 必要に応じて、「5 業務内容」中の(1)ウの勉強会又はWGの企画と連携すること。

イ 共同研究開発チーム等組成につながるコーディネート

(4)アにて企画する内容のほか、共同研究等の組成や支援施策検討のため、会員

を中心に、ニーズやシーズ、共同研究成果等について、アンケート等を実施する。

ウ 共同研究及び競争的資金獲得につながる試作品作成等に係る支援

産学共同研究開発チーム組成及び国や県の競争的資金獲得を後押しするため、試作品製作に係る支援（3件程度）を行う。

支援要件や審査基準、審査方法、実績報告等を定める実施要綱を県が作成するのを支援する。試作品製作支援は、この要綱に従って受託者が行う。支援に必要な費用の支払いを行う。

6 成果物

- ・業務実施報告書（A4判縦） 2部
 - ・上記の電子データ 1式
 - ・その他、本県が指示したもの
- ※ 電子データは県が指定する形式で作成すること。

7 納品場所

愛知県経済産業局産業部産業科学技術課及び県が指定する場所

8 その他

- (1) 県と十分協議のうえ本業務を実施すること。
- (2) 本業務の開始から終了までの間、業務内容全般を常に把握している統括責任者を置き、業務実施内容や進捗状況の確認等、業務の円滑な実施のために、定期的に県と連絡調整を行うこと。その他、業務を円滑・適正に運営するための組織体制、人員配置を行うこと。
- (3) 委託業務の経理を明確にするため、受託事業者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと。
- (4) 本業務に係る会計実地検査等が行われる場合は、協力すること。
- (5) 受託事業者は、事業完了後5年間、本委託業務に係る会計帳簿及び証拠書類を県の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しておかなければならない。
- (6) 本事業は、地域未来交付金を活用して実施するため、同交付金の交付要綱等に基づき適正に処理すること。
- (7) 成果物については、第三者の著作権等の権利を侵害していないことを保証すること。
- (8) 本業務の遂行にあたり知り得た情報を、県の許可なく他に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。
- (9) 個人情報等の保護すべき情報を取り扱う場合は、その取扱いに万全の対策を講じること。

- (10) 本業務の実施に当たり、問題等が発生した時は、県に遅滞なく報告するとともに、誠実な対応を行うこと。
- (11) その他、本仕様書に定めのない事項は、県及び受託事業者の協議により定めるものとする。